

校長室から平成31年1月23日

ファイナンス・パーク学習を参観して

保護者の皆さまにご協力いただき、感謝申し上げます

1月16日(水)～18日(金)の3日間、長町中学校第2学年がファイナンス・パーク学習に取り組みました。

当日は、仙台駅AER8階にある「仙台子ども体験プラザ」で、責任ある一市民として社会の仕組みや経済の働きを学びながら、具体的には家族や収入等の与えられた条件の中で、ビジネスブースを回りながら、商品やサービスの購入・契約等を体験しました。変化の激しい社会の中で自立していくための学習プログラムです。この学習は1度だけのイベントという事ではなく、事前学習やそれ以前から進めている職場体験学習、今後さらに深めていく進路学習等の連続する学習課程であり、「自分づくり教育」と呼んでいます。

生徒たちは、真剣に課題と向き合い、体験学習に参加していました。あまりにもじっくり考えて、設定されている時間に間に合わない場面も見られましたが、サイトマネージャーの先生方から「じっくりと考え、深めていく過程が素晴らしいね。」とお褒めの言葉をいただいていた。

私も短時間でしたが、3日間で2度、生徒の活動を参観することができました。確かに生徒達はとても真剣に学習に取り組み、グループ内で意見を交換したり、お互い確認しあったりして、意欲的に活動していました。本校で、日常的にグループ学習やペア学習に取り組んでいる彼らにとっては、ごく自然に会話が弾み、活動が進んだようです。

授業等の中で、グループ学習を意図的に設定するのは、人とのかかわりを体験したり、互いの意見を発表したり、聞いたりするなかで、自分とは異なる考えを理解し、異なる価値観を知るという事が目的の一つでもあります。また自分の意見を発表するために考えを整理したり、他者の意見を聞いたりしながら、自分の思考を深め、更新していくという大きな意味があり、学力の向上にも繋がっていきます。本校では、全学年でこのような活動が授業等で日常的に設定されているために、このような体験学習の場でも生かされるのだと思います。

また、2学年の生徒の中で、課外活動のマナーや礼儀もしっかりと意識されていて、施設の方へのあいさつや時間を守っての行動などがよく出来ていました。女子生徒達の中で「トイレを使わせていただき、ありがとうございました。」とあいさつをしているグループもあり、係の方がびっくりされていました。きっと修学旅行のマナー等にも繋がっていくと思います。様々な活動の効果が点から線になり、さらなる彼らの成長に結びついていくことが望ましい事だと思います。

その中で、3日間、本当に多くの保護者の方々にボランティアとしてご協力いただいた事に心より感謝申し上げます。ボランティアの方々には、生徒一人一人にお気遣いいただき、活動がスムーズに行くようにコーディネートしていただきました。アドバイスが必要な生徒のところにまでわざわざ移動していただきながら、お手伝いいただいたことなど、本当にうれしく、感激しております。お会いした時に、きちんとしたごあいさつも出来ず、大変失礼いたしました。保護者の方々のご支援が、今の生徒達の成長に大きな影響を与えている事を本当に実感いたします。今後も、多くの保護者の皆様に生徒を支えていただき、学校を支えていただきながら、長町中学校の諸活動に参加していただければ、こんなに心強い事はありません。生徒一人一人の成長のためにこれからもどうぞよろしくお願いいたします。